

吾輩は会報である。名前はまだ無い。

(つづく)



# 創刊号

[2009年6月]

日本カイロプラクティック師協会(JSC)北陸支部

北陸カイロプラクティック師協会

## ■つづき

吾輩は会報である。名前はまだ無い。

ちなみに九州北支部の会報にはCHANNEL Q、東海支部の会報には東海 HANDS(ハンズ)という名前がついているのだそうだ。何ともうらやましいではないか。

吾輩にも誰か名前をつけてくれぬだろうか。

北陸の陸とカイロをくっつくと・・・陸海路(りく)カイロ  
う～ん、何だかピンとこねえ～



または北陸の北とカイロブラクティックをくっつけて北(ほっ)カイロ・・・

温かで、ホッとするようなイメージである。うん、好いかもしれぬ。

北といえば北海道にも北がつく。北海道支部より先に商標登録せねば、先を越されてしまうゾ。



さて吾輩の産みの親は日本カイロブラクティック師協会(JSC)北陸支部と北陸カイロブラクティック師協会なのだそうだが、その違いは・・・トンと見当がつかぬ。

いずれにしても数年の時を経て、待ちに待った創刊号の誕生である。めでたい、めでたい。今年度は、4回発行されると聞いている。

そのために会員の皆様方には原稿の依頼が舞い込むものと思われるが、ぜひともご協力をお願いしたい。「お願いしたい」とは尊大なのだが、吾輩は生まれたばかりの会報であるがゆえ、まだ上手に人間語をしゃべれない。どうか、ご勘弁いただきたいのである。



何を書けばいいのだろう・・・と思われるかもしれない。

他の支部の会報は、とても立派なもので・・・他人に読まれるのは恥ずかしい。

でもそんなの関係ねえ～♪

会報の目的は、いくつかあるのだが、富山のメンバーと石川・福井のメンバーが顔を合わす機会があまりない。知らないメンバーもいることと思う。

日々の臨床の中での疑問が浮かび上がってくる。何かヒントが欲しい。他人はどうしているのだろう。他のメンバーの症例を知りたい。

その橋渡しのために吾輩が登場したのである。

是非、みんなで情報を出し合おう。自分のために、仲間のために、患者さんのために。

## \*編集局より

会報の愛称を募集します。

## ■北陸カイロ師協会？ JSC 北陸支部？……高橋克典

北陸カイロプラクティック師協会と日本カイロプラクティック師協会(JSC)北陸支部…、北陸会員の皆様は我々の会は何と言う会なのか混乱している方もおられると思います。でも一言でいえば本来は北陸カイロプラクティック師協会が JSC 北陸支部です。本当はイコールです。

でも北陸には JSC の会員と北陸カイロ師協会のみ会員が混在しているのはなぜか、どういった経緯でそうなっているのか、我々の会の誕生の経緯についてカイロプラクティック業界の流れの中でお話させていただきます。

我々の会の前身である日本カイロプラクティック総連盟(JCA)北陸支部が誕生したのは今から約 30 年前のことです。本部である日本カイロプラクティック総連盟は名称に総の字が入っているように、カイロプラクティック業界を団結すべく 1961 年に主要 7 団体が合併して誕生しました。そして JCA が 2 年間の通信教育を始めるのに合わせて北陸にも支部が誕生し、私も通信教育の第 2 期生(第 1 期生は名誉学生)として 1982 年に入会しました。

それから月日が流れ JCA は日本カイロプラクティックアカデミー(NCA)と分裂し、JCA 北陸支部も分裂、NCA 北陸支部として北陸カイロプラクティック師協会を創設し、私が初代会長となったのが 1993 年のことです。

そして NCA では我が国唯一の 6 年間の系統教育を開始しました。1996 年には NCA が教育をストップしていたため、カイロプラクティックを志す皆さんのために私が北陸カイロプラクティック同友会を設立して系統教育を開始しました。第 1 期生として小松正徳・高橋登・中川佳親・野原英明先生が入られましたが、2 年目には NCA の教育が再開したため、揃って NCA に編入していただきました。

その後も NCA はちょっと大変だし、でもカイロプラクティックを学びたいと言うニーズもあり同友会の教育(北陸徒手医学研究会)を再開し、現在に至っています。

話を戻しますが、NCA は本来教育団体であり、NCA の教育を修了した方たちのための団体である日本カイロプラクティック師協会(JSC)と分離した方がいいのではないかと言うことになり、名称はあったが形骸化していた JSC を 2005 年に NCA から分離し独立させて現在の新生 JSC となりました。

NCA と JSC の分離の際に新生 JSC の会員になった人と北陸カイロ師協会のみ会員となった人、そして同友会の修了者も北陸カイロ師協会に加わって会員となり、北陸カイロ師協会は混乱しているのが現状です。

混乱を招いたのは私ではあると思いますが、本来の姿である JSC 本部会員、そして JSC 北陸支部会員と言う形にしたいと思いますので、現在北陸カイロ師協会のみ会員の方はぜひ JSC 本部会員(同時に JSC 北陸支部会員となる)にもなっていただきますよう前向きなご検討をお願い申し上げます。私の話を終わります。

\* 編集局より JSC入会申込書を同封しますので、高橋先生宛てに返送下さい。

## ■自己紹介……中川佳親

北陸カイロプラクティック師協会の会長として前任の山田先生から受け次いで3年目になりました。その間、協会委員としてたくさんの勉強をさせていただきました。

カイロのテクニックは勿論ですが、治療家としての姿勢や考えも変化してきたように感じます。自信は患者に安心感を与えさらに、治療効果を高めることに繋がり、私自身の活力に続きます。

自信を持つためには、モチベーションを高める努力が必要です。絶えず新しい知識を吸収し一緒に勉強して行きましょう。



さて、会長としての挨拶はこれくらいにして、あまりこれといった趣味がないのですが、子供に「毎日、遅くまで何しとるが」と言われ「HPを作っとる」と答えると「飽きんが?」と言われた時に、自分では気がつかなかったのですが、HPを作ることが趣味かもしれないと思いました。

私は高岡市柔道連盟の広報も担当しており、他の人より少しだけHPに詳しいからと、高岡市柔道連盟公式サイトでのHPの作成を任せられました。一度ご覧ください。

「高岡市柔道連盟公式サイト」<http://judo.boy.jp/> 我ながら上手にできたと関心(\*\_\* )!!

柔道は、教育という考えから四人のうちの三人の子供には、小さい時から柔道を習わせています。しかし、一番下の子供(小2)はまだ準備中!!



妻と四人の子供たちの六人家族です。

私は現在、まだ講道館の六段ですが、これからもがんばりますのでよろしく願いいたします。たまに、鏡の前で独り言を言って子供たちに気味がられることがあります。ファイト一発!!

## 中川先生へのインタビューです

Q1.出身校は?

柔整:北信越柔整専門学校

カイロ:全尽堂高橋カイロ学校

Q2.治療歴は?

柔整:開業して20年

カイロ:勉強をはじめて13年

Q3.治療院名は?

中川接骨院(富山県高岡市)

Q4.得意技は?

情に訴えること

Q5.好きな女優・歌手は?

オセロの中島知子



Q6.好きな食べ物は?

妻の愛情のこもった食べ物

Q7.世の中で一番怖いものは?

自分の心の中にある不安

Q8.愛読書は?

ヤマダ電機のチラシ

Q9.座右の銘は?

千里の道も一歩から

Q10.将来の夢(またはビジョンは)?

お金の心配をしない生活



## ■自由に投稿コーナー……小松正徳

喜…私の家の末っ子がこの春、中学生になりました。

長男、長女、次女と小学校を12年間お世話になり卒業しました。

先生方に感謝・感謝……



怒…5月5日長野県で中部地区中学生オープン柔道大会がありました。

女子の団体戦は先鋒・中堅・大将の三人戦で試合をしましたが、決勝戦で我が家の娘達が二人で負けてしまい悔しい思いをしました。



哀…最近、みなさんは涙がでたことがありますか。

余命一ヶ月の花嫁で、私は久々に涙しました。

それも予告で2007ドキュメンタリー長島千恵さんが恋人に聞かれて「生きている」の一言で自然に涙が勝手にあふれでて留まりませんでした。

楽…私の長男は、幼児期から障害を持っていました。高校生から高岡養護学校でお世話になり、今年卒業しました。

子供達一人一人障害が違いますが、その子の長を理解した上で先生方は、愛情を注ぎながら指導されています。



みなさんは、この学校の運動会・学校祭を見たことがありますか。どの子も真剣な姿で演技し、ほのぼのして楽しく、ゆったりとした時間が流れていきます。

どこの小学校、中学校の学校祭・運動会より楽しくて素晴らしいと感じています。

十人十色と言う言葉がありますが、一人一人個性も違うし、考え方もさまざまです。

又、成長の違いもあります。

上を見たらきりがありませんが、子供なりに頑張っている姿があるからこそ、私も頑張っていくことができ、感謝・感謝……

と、色々今頭に浮かんだ喜怒哀楽を取り留めなく書きましたが、感じる事が、それもなるべく正しく感じる事が治療に役立つと思います。

### \*編集局より

テーマは自由です。なんでも結構！

日頃、感じている事、思っていること、考えている事を投稿してネ。



# 北陸支部セミナー開催

テーマ 日常の臨床

—誰でも結果が出せる原因追求の仕方と治療—

講師 鈴木明弘先生

【日時】6月27日(土)13:00～17:00 終了後に懇親会

6月28日(日)9:00～16:00

【会場】富山県射水市小島700-1 大島社会福祉会館

電話 0766-52-5010

【受講料】 10,000円(懇親会費用は別)

【問合せ】新開秀樹(電話 0766-28-5775 Eメール shinkai@pl.tcnnet.ne.jp)

【申込み】同封の返信ハガキをお出し下さい(欠席の方も)

鈴木先生は、ベーシックなカイロプラクティックだけではなく末梢神経、内臓、噛み合わせ、靴の問題と様々な分野の知識を習得されました。数年前からは、脳科学の分野と身体機能とのつながりについて研究され、ブレインアラームセラピーとして臨床に活かされています。

鈴木先生の検査や治療に対する考え方や仕方を実際に見て、聞いて、体感出来る良い機会だと思います。みんなでセミナーに参加して一緒に勉強し、自分の治療の幅を広げましょう。

(学術担当:新開秀樹)

## ●鈴木明弘先生を囲んでの親睦会開催

【会場】ホテルイナホ 2階宴会場

【日時】6月27日(土) 午後7時より

【会費】宴会+宿泊(大部屋)の場合 11,000円(予定)

宴会のみの場合 7,000円(2次会費含む)



酒宴の席でしか聞けない話がたくさん聞けるかも!

宴会だけ参加の方も入浴できます。

是非、みなさんの参加お待ちしております。(懇親会担当:野原英昭)

### ●鈴木明弘先生のプロフィール

神奈川県相模原市 アキヒロカイロプラクティックオフィス 院長

1959年、神奈川県生まれ。中央大学理工学部卒業。

日本カイロプラクティック師協会(JSC)前副会長

日本カイロプラクティック徒手医学会理事

マニュアルメディスン研究会評議員

著書：大丈夫？子どものカラダ ～家庭ですぐにチェックできる骨・関節・筋肉の異常～

### ●鈴木明弘先生からのメッセージ

私たちのオフィスに来院する患者さんの多くは、画像診断を受けその診断の処置を受けたにも関わらず改善しないと述べられる方がほとんどです。その時の患者の心情は、半ばあきらめの不安感と、「もしかしたら」という期待感が交錯しています。この心情に対して、私たちは機能的な側面から原因を追究し、その場で確実に症状の変化を実感させてあげることが出来れば、患者さんの心情から不安感が取り去られます。そこには、期待感だけが残ります。私たちのやりがいもそこに存在します。

一言に機能的側面から原因を追究すると言っても、どうしたら確実に原因を追究できるかが一番の問題です。そこでの一番のポイントは、「検証する」作業の繰り返しです。検証することで、自分の考えたこと行ったことが、正しかったかの的外れを判断できるのです。そこには、重要な事柄がたくさん含まれています。一度に原因を発見しようとするそこには高い壁が存在してきます。この作業をおろそかにしないで、一つ一つ検証し見極めていくことで、最終的に原因にたどり着くことが出来ます。この事が、『考える力』につながると考えます。これを習慣として身につけることで、今まで皆さんが学んできたことを検証の一つとして取り入れることが出来、物の診方の巾が広がります。検証していく作業は、患者さんにも体験として伝わります。この体験は、ドクターとの心のやり取りにも成り信頼感にもつながります。2日間を通して、一つの診方の方法としてお伝えできれば幸いと考えております。

### ●講師に鈴木先生をリクエストされた中川佳親支部長より

6月27～28日の講師にお招きする鈴木明弘先生は、日本カイロプラクティック師協会副会長を務められ、業界内の人材の育成に関わると共に、日本カイロプラクティック徒手医学会の理事としてカイロプラクティックの科学的証明活動のために会の運営に携わり、自ら論文を書き、優秀論文賞を受賞、臨床では、歯科医・内科医・助産師と連携をし、赤ちゃんから高齢の方まで幅広い角度で施術に当たっておられます。

このセミナーでは、テクニックだけではなく、先生の治療に対するアプローチ方法や、痛みのメカニズムについて患者さんが「フーン」と納得出来る先生の物腰の優しい説明の仕方を学びたいと思います。

日本カイロプラクティックアカデミー(NCA)学長の角野善則先生が4月26日に急逝されました。

#### ■角野善則先生を偲んで……宮崎るみ

4月27日朝、携帯が鳴り角野先生の訃報を知った。

突然過ぎて、ビックリするやら驚くやら信じられないって言う感じでした。



私達5人で、お通夜に行くことになり大阪に向かいました。

少し早く着き、あまり人がいなかったのも、ゆっくと角野先生の顔を見ることができました。1年ほど前にお会いした時と一緒に穏やかで、色艶も良く、今にも目を覚まされるのではないかと、思うくらい安らかなお顔をしていました。

角野先生とは、NCA学園が出来る前から講師として教えて頂いていて、昔は近寄り難く、話かけることすら出来ないほどでしたが、私にとって、高山の千光寺での研修会が角野先生との距離が少しずつ近くなっていったように思います。

千光寺に2泊3日で日本中の仲間が集まり心療講座を開催されるのを、私はいつも楽しみに参加していました。2階で講座、1階は休憩場にして、2時間ぐらい講座をしては休憩があり、角野先生が休憩場に行くと、結構、他の先生も休憩場に行かれ、遅いなあ〜と思ったら、休憩場で個人的に心療講座をしてもらっている人などがおられ、角野先生の周りには、いつも人が集まっていました。雑談のときでも、中身は心療的な事を多く話されていて、雑談だからか、声が小さくボソボソと話をされていたので、私は耳を傾けて聞こうと努力はするんですけど、残念ながら聞こえない時は多々ありましたね〜。千光寺は懐かしい良い思い出です。



池田学舎では、角野先生が自分で禁煙の紙を貼り、やっぱり張り紙をしてあれば、吸いにくいと思うのですが、一人堂々と角野先生はタバコを吸っていたり、いつも甘い缶コーヒを横において講義をされ、休憩になると、また人が周りに集まっていきました。



角野先生は、あの大阪弁の柔らかい口調で「かまへん、かまへん。」「うん、そうや。」と言っていつも相手の話を聞いてからアドバイスをしてくださるので、すごく安心して相談できたし嬉しかったですね。

これからは、角野先生の教えて頂いたことを、私なりに無理せずマイペースでやっていきたいと思っています。

角野先生、安らかにやすみ下さい。 合掌



21年3月卒業式の先生



## ■黒部例会開催のご案内

我々は五感を使い患者さんの身体や心を診て、そして治療します。我々の身体が緊張(イライラ、ガチガチ、、締め感など)や昏沈状態(だるさ、ぼやけ感など)にあると五感が鈍り、心が乱れ、日々の診療が疲れた、味気のないものになってしまいます。

黒部例会では、触り触られる中で、自分自身を見つめ自身のあくを取り、五感を磨き、そして心身の安定や平安を探求します。

対象者は、会員、会員の家族や知人として。会員だけでなく家族や知人を対象にしたのは、家族の安定、平安が、我々の日々の診療に大きな影響を与えるからです。また、老若男女の幅が広がり、より勉強できる機会が増すと思います。

時間は午後9時～12時としていますが、午後9時に集まれない方も多いかと思っています。集まった方から治療をしい、時間を有効に使っていきたいと思っています。

- 【日 時】 第3金曜日 21:00～24:00  
【会 場】 みやざき接骨院(富山県黒部市荒町 415、TEL.0765-52-5259)  
【対象者】 北陸カイロプラクティック師協会会員、会員の家族、知人  
【内 容】 カイロプラクティック心療講座の講義内容を基に、自分自身を見つめ、あく(緊張や昏沈など)を取る。  
【目 的】 五感を磨く。心身の安定や平安を探求する。  
【問合せ】 山田隆司  
(TEL.0765-54-0578、FAX.0765-54-3037、E-mail : hiroandai@ma.mrr.jp)

## ■富山例会のご案内

- 【日 時】 毎月第2、第4金曜日(変更有。ご確認下さい) 22:00～25:00  
【会 場】 場所:射水市八塚488-6 高橋カイロプラクティック全尽堂  
電話:0766-52-3706



## ■金沢例会(兼 北陸徒手医学研究会)のご案内

### 基礎課程

- 【日 時】 6月21日(日) 7月5日(日) 8月9日(日) 9月6日(日) 9:00～17:00  
【会 場】 金沢勤労者プラザ

### 臨床課程

- 【日 時】 6月14日(日) 7月12日(日) 8月23日(日) 9月13日(日) 9:00～17:00  
【会 場】 金沢勤労者プラザ  
【問合せ】 0766-52-3706 または 090-2125-9476(高橋克典)  
【その他】 金沢例会は参加費1,000円要。

## ■学術担当より……新開秀樹

富山の会員と石川、福井の会員が顔を合わす機会が少ないため今年度は支部の共通の意識を高めるべく3～4回程、合同での勉強会を行います。

内容はモーションパルペーションや筋力検査などの予定ですが、詳細の日程、会場などについては後日お知らせしますので多数のご参加をお待ちしています。

## ■日本カイロプラクティックセミナー in 名古屋 平成21年11月7日(土)～8日(日)

JSC主催のセミナーです。新たな気づきや感覚を体感できるチャンス！

## ■あとがき

吾輩は会報である。

創刊号は、これまでである。

内容は、どうであったろう？

吾輩としては上出来だと思っている。原稿を快く引き受けてくださった先生方に感謝いたします。

吾輩は満足しても、やはり会員の皆さんが心待ちにするような、そんな会報にしたいと思っている。なので、ご意見・ご要望を聞かせていただけたら幸いである。



今回、執筆依頼が来なくてホッとしていた貴方。へへへ…次回はお願いするかも。  
そして、今回執筆していただいた方…今回書いたから次回の依頼はないだろうって？  
へへへ、またお願いしますね(笑)

原稿を書くのは大変！でも、あまり緊張しないで、  
リラックスして、楽しんで参加してほしい。

角野先生がよくおっしゃっていた。「頑張らない。楽しんで！」



**原稿の送り先はこちらまで** 会報の愛称もこちらまで

編集委員(広報担当)

### ・高橋登

〒930-0138 富山市呉羽6068-3 高橋接骨院

【電 話】076-434-4611

【Eメール】 ntakahas@poppy.ocn.ne.jp

### ・藤岡敦己

〒939-8074 富山市大町南台1-1 快癒館

【電 話】076-493-6654

【Eメール】 e-mail@kaiyukan.info